

2学期が終了しました。

文責 学校長



～令和2年を振り返って～

1 新型コロナウイルスに始まり、感染拡大防止に我慢我慢の1年でした。

令和2年は「東京2020」オリンピック・パラリンピックの記念すべき思い出に残る一年になるはずでした。ところが、新型コロナウイルスの感染がグローバル化した世界の交通網を介して瞬く間に世界に拡大していきました。日本も感染防止策の一環として「緊急事態宣言」が全国を対象に発令され、3月の休校措置に続き4月・5月も全国一斉休校措置となり生徒諸君は登校できない日々が続きました。春の高校野球センバツ甲子園大会を始め、全ての競技の全国選抜大会が中止となり、夏の甲子園も全国高校総体も中止という前代未聞の事態となりました。また、学校でも体育祭や文化祭も様々な制約の中での開催となり、高校生活が一変してしまっただけでなく、日々の高校生活も「密集・密閉・密接」の「三密」を避けることに気を配り、手洗い・うがい・マスク着用が学校でも電車の中でも当たり前前の生活となりました。その間、マスクやアルコール消毒液が売り切れ続出で手に入らず、マスクを手作りしたり、次亜塩素酸水を消毒液の代用として使用したりと、関係の先生方には学校再開に向けて奔走していただきました。このコロナ禍、感染の恐れもある中、検査及び治療に当たっていただいている医療現場の皆様、治療薬やワクチン開発に尽力されている研究者の皆様のご苦勞には頭が下がります。

さて、第一波・第二波以上の感染拡大となった**第三波**も冬の到来とともに感染が拡がり、緊急事態宣言下の頃に比してさらに数倍もの感染者が報告され、医療現場もさらに危機的状況に陥っています。AIの予測にも感染拡大に歯止めがかからないとの報告もなされています。今はとにかく**国民の良識で不要不急の外出を自粛し、医療現場の危機的状況を救うことに協力しなければなりません**。いよいよ年が明ければ、進学を目指す3年生にとっては、新たに始まる「**大学入学共通テスト**」が控えています。感染症予防のために最大限の配慮をし、**食事と睡眠を十分にとりながら勝負の日**を迎えてほしいと思います。1・2年生も**感染症予防策を最大限心がけて年末年始を過ごしてください**。

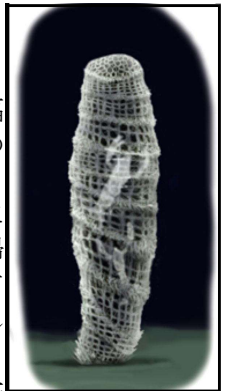
2 新人大会(続報)・・・剣道部、個人戦で九州大会への出場権を勝ち取りました。

19日に行われた県高校剣道新人大会で**副島碧**くん(2-2)が個人5位に入り九州大会へと駒を進めました。

3 今週のお話成語・・・「偕老同穴」【問題】「偕老同穴」を英語で表現すると？

夫婦が仲むつまじく、契りの固いこと。(出典：『詩経』より)

【由来】夫婦が長生きして、死後も同じ墓に葬られる意で、夫婦の契りの固いこと、むつまじく幸福な理想の結婚生活を言います。中国古代の詩集『詩経』「邶(はい)風、擊鼓篇(へん)」に、「子(し)の手を執(と)りて子と**偕(とも)に老いん**」とあり、同書「王風、大車篇」に、「穀(い)きては則(すなわ)ち室を異にすとも、死しては則ち**穴を同じうせん**」などとあるのを出典としています。「偕」はともにの意。「穴」は墓の穴の意。夫婦がともにむつまじく年を重ね、死後は同じ墓に葬られる意から、夫婦が仲むつまじく添い遂げることを表す言葉です。実は、「**偕老同穴**」という生物がいることを知っていますか。広島の大島神社の宝物館でこの生物の標本を見て以来、忘れられない四字熟語となりました。「偕老同穴」とは、**カイロウドウケツ科の海綿動物**の総称です。深海の泥中に直立する、円筒形で、全長30～80センチ。体壁はかごの目状で、写真のように内部の胃腔に**雌雄一対のドウケツエビ**が共生することから、はじめエビをカイロウドウケツと呼んでいましたが、後にこの海綿の名を呼ぶようになりました。



4 今週の名言・・・**茂木健一郎(埼玉県出身)**の言葉です。

○脳の神経回路は、楽観的に物事をとらえていないと、潜在能力を発揮できないようにできています。悲観的なときの脳は、言うなれば潜在能力に蓋をして抑え込んでいる状態なのです。

【解説】脳科学者・茂木健一郎氏の言葉で、人が潜在的な能力を発揮するためには、脳の状態が重要であることを説いた言葉です。イメージトレーニングにも通じる言葉で、いいイメージで物事に取り組むのか、マイナス思考で躊躇するのかが結果も大きく左右されます。武高生諸君も**プラス思考で潜在能力を発揮してほしい**ものです。

【茂木健一郎について】東京都中野区に生まれ、生後まもなく転居した埼玉県春日部市で中学時代まで育つ。東京学芸大学教育学部附属高等学校、東京大学**理学部**、同**法学部**を卒業。「**クオリア**」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係についての研究を行っている。テレビ番組や雑誌、週刊誌などマスメディアで積極的に活動している。

5 入試によく出る漢字・・・『最重要ベスト100』から・その3 いくつか書けますか？

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| ①兄と弟は性格が タイショウ 的だ。 | ②機動隊の出動を ヨウセイ する。 | ③外国文化の モホウ に過ぎない。 |
| ④彼の論理には ムジュン がある。 | ⑤組合の要求に ダキョウ する。 | ⑥ ショウコ の品を突きつける。 |
| ⑦食欲を シゲキ する匂い。 | ⑧政治家の ダラク が目につく。 | ⑨富士山は日本の ショウチュウ だ。 |
| ⑩ ショウドウ に駆られる。 | ⑪柔らかな表現に カンゲン して言う。 | ⑫事件が キエン となり交際が始まった。 |
| ⑬彼の研究に シサ を与えてやる。 | ⑭法に対する 両国共通のガイネン 。 | ⑮ インフレ を ヨクセイ する対策。 |
| ⑯別に変わったこともない ボンヨウ な生活。 | ⑰木を マサツ して火を作る。 | ⑱彼は人間的な ミリョク がある。 |
| ⑲内情が フクザツ でよくわからない。 | ⑳勝利を カクトク する。 | |

6 今週の一冊・・・岡田尊司氏の『この世の中を動かす暗黙のルール』（日本図書センター）です。

生きにくさを感じているあなたに伝えたい“8つのルール”人生の幸不幸を左右する「暗黙のルール」。だれも教えてくれなかったそんなルールを、『愛着障害』『パーソナリティ障害』などの著者、岡田尊司が物語形式で伝えます。

(参考：本書表紙説明より)

【解説】何気なく図書館で目に留まり、読んでみましたが、今年度私が出会った本の中では間違いなくNo. 1です。人づきあいが苦手な人はもとより、この世で生きるすべての人に読んでほしい一冊です。内容は、失業した若者が、将来に絶望して自殺を図ります。幸い助けられますが、精神病院に入院させられ、そこで、若者は一人の奇妙な老人と出会います。若者は老人から、この世の中を動かしている「暗黙のルール」があることを教わります。それにより、若者は新しい生き方を手に入れようとするのですが…。何度も何度も人間関係のトラブルに巻き込まれます。その都度老人を訪ね、ルールを一つずつ手に入れていきます。「暗黙のルールを知っているかどうかで些細な違いが生まれ、それが積もり積もって大きくなり、人生の幸不幸が左右されてしまう。それが、わしがこの人生から学んだことじゃ」と語る老人の教えを手掛かりに若者はその都度手に入れた暗黙のルールを手掛かりに人生を切り開いていくというストーリーになっています。物語であると同時に、読むことで、生きづらさの本質を知り、それを克服する方法を学んでいくという実用書の面も兼ね備えています。生徒にも先生にも保護者の方にも読んでほしい「目から鱗」の一冊です。

【作者・岡田尊司について】1960年、香川県生まれ。精神科医、作家。東京大学文学部哲学科中退、京都大学医学部卒。同大学院にて研究に従事するとともに、京都医療少年院、京都府立洛南病院などで困難な課題を抱えた若者と向き合う。現在、岡田クリニック(大阪府枚方市)主宰。日本心理教育センター顧問。山形大学客員教授として、研究者の社会的スキルの改善やメンタルヘルスの問題にも取り組む。『パーソナリティ障害』(PHP新書)『愛着障害』『愛着障害の克服』(光文社新書)『「生きづらさ」を超える哲学』(PHP新書)、『悲しみの子どもたち(集英社新書)など多数。また小説家・小笠原慧としても活動し、『DZ』では横溝正史ミステリ大賞を受賞。他に『風の音が聞こえませんか』(角川書店)、『タロットの迷宮』(文藝春秋)などがある。(参考：本書著者紹介文より)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり・・・第37回は埼玉県です。

○名所

(参考：「ぐる旅」その他より)

◆蔵造りの町並み・・・川越は城下町の面影を色濃く残し、『小江戸』と呼ばれる蔵造りの町並みが特徴。川越のシンボルともなっています。『時の鐘』は、寛永年間(1624年～44年)に建てられたものが最初ですが、現在の鐘楼は1893年に起きた『川越大火』の翌年に再建されたものです。3層構造の塔で高さ約16メートル。現在1日に4回(午前6時・正午・午後3時・午後6時)鐘の音を響かせています。江戸時代の街並みを見ながら「時の鐘」までのんびりと散策すると、心も癒されます。池袋から電車で30分で行け、左右の道いっぱい広がる蔵造りの建物を見渡せば、江戸へタイムスリップした気分を味わえます。川越の名産・さつまいもを使ったスイーツや老舗の絶品和菓子を食べ歩きながら、ゆっくり散策してみるのがオススメです。

◆長瀨岩畳・・・荒川中流にある峡谷・長瀨(ながとろ)は、さまざまな形の巨岩のある淵瀬や高さ数十メートルの秩父赤壁といわれる岩壁をなしています。岩畳と岩壁は大規模な地殻変動によるもので長瀨の巨岩の典型であり、地質学研究に好適な自然の博物館でもあり、幅80m長さ500mに渡って岩石が続く景色は圧巻です。長瀨名物のライン下りなら、船の上から荒々しい岩肌を見上げることも出来ます。長い年月をかけて作られた岩の造形美に、見とれてしまいます。都会から約90分というアクセスの良い場所にありながら、そこには大自然が待っています。

○スイーツ・土産

【草加せんべい】(志免屋)草加煎餅は、埼玉三大銘菓の一つ。志免屋は明治34年に創業した老舗中の老舗で、パリッと香ばしく口当たりの軽い煎餅は、こだわりの逸品です。終始一貫して伝統的な製法である手作りをベースとして、お煎餅に適した二合半頃の米(国内産のコシヒカリ系)を選び、自家製粉、セイロの蒸かし、焼上調味まで独特な味わいに仕上げているお菓子です。

【十万石まんじゅう】(十万石ふくさや)十万石まんじゅうは、埼玉県民の間ではおなじみのお菓子です。材料は厳選した国産つくね芋を毎朝すりおろしており、新潟県産コシヒカリの粉の薯蕷皮と選び抜いた北海道十勝産小豆を自家炊きさせた「こしあん」が絶妙な組み合わせとなっています。

8 保護者の皆様へ・・・年末年始の不要不急の外出自粛にご協力ください。

冬休み期間中(年末年始)は、受験生のために「ステイホーム」「不要不急の外出自粛」に最大限ご協力ください。

【表面の問いの答】「happy life partnership」「living faithfully together till death」

①対照 ②要請 ③模倣 ④矛盾 ⑤妥協 ⑥証拠 ⑦刺激 ⑧墮落 ⑨象徴 ⑩衝動
⑪換言 ⑫機縁 ⑬示唆 ⑭概念 ⑮抑制 ⑯凡庸 ⑰摩擦 ⑱魅力 ⑲複雑 ⑳獲得